

The coal mine as cultural resource

# ‘文化’資源としての<炭鉱>展

Art / Photography / Graphic Arts of Japanese Coal Mines

Part.1-

# <ヤマ>の美術・写真・グラフィック

2009(平成21)年11月4日(水)~12月27日(日)

月曜休館(ただし11月23日(月)は開館、24日(火)は休館)

開館時間:午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)

料金:一般:800(600)円/大高生・65歳以上:600(500)円/

中小生:無料 ( )内は20名以上の団体割引料金、障がい者とその付添(1名)は半額

\*「文化」資源としての炭鉱展」チケット半券1枚提示で、ポレポレ東中野での「映像の中の炭鉱」の1プログラムを200円引き(中学・小学は除く)でご鑑賞いただけます。

会場:目黒区美術館1階・2階全室

<夜の美術館大学コールマイン・アート学科>

全15課/講師:川俣正、上野朱、吉岡宏高、本橋成一、坂本道徳、野見山暁治、ジェスティ・ジャスティン、岡部昌生、菊畑茂久馬、木下直之、杉浦友治、萩原義弘、源藤隆一、佐藤時啓、大橋弘、吉増剛造、本展担当学芸員、各回有料、募集人数:毎回約30名、

※申込方法・開催時間・会場などの詳細は、展覧会チラシ、目黒区美術館web-site、またはお電話でお問い合わせください。

同時開催

‘文化’資源としての<炭鉱>展 Part.2-川俣正コールマイン・プロジェクト 筑豊、空知、ルールでの展開

同時開催

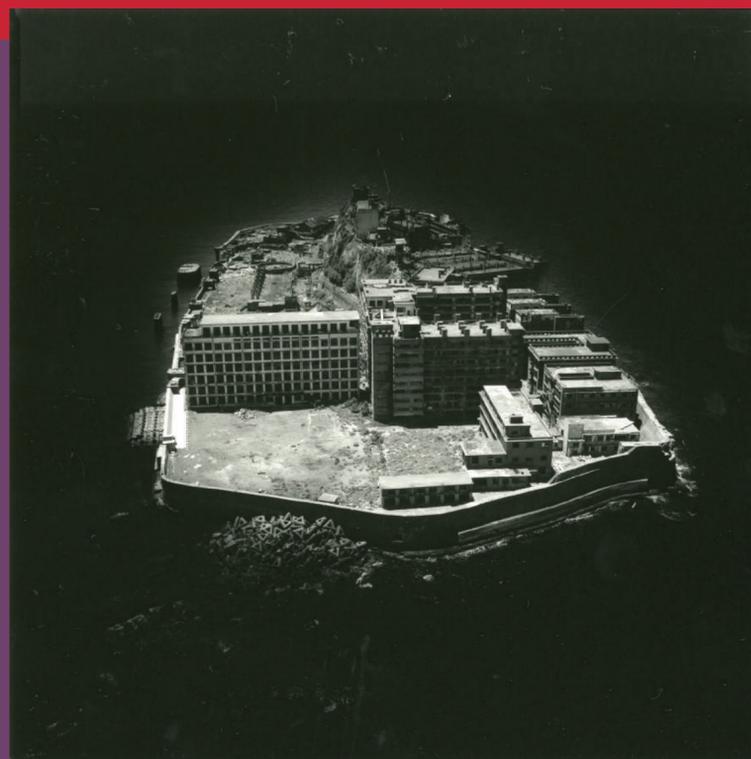
‘文化’資源としての<炭鉱>展 Part.3-映像の中の炭鉱

2009年11月28日(土)~12月11日(金)

会場:ポレポレ東中野(中野区東中野4-4-1/ポレポレ坐ビル地下/TEL 03-3371-0088)



山本作兵衛「低層 先山後山」、1973年



萩原義弘「端島炭鉱(軍艦島)」、1995年

2009  
11/04(水)  
12/27(日)

# 目黒区美術館

Meguro Museum of Art, Tokyo  
目黒区美術館  
〒153-0063 目黒区目黒2-4-36  
Tel:03-3714-1201 <http://www.mmat.jp/>  
主催:(財)目黒区芸術文化振興財団、目黒区美術館  
Designed by Tsuji Ko

共催:目黒区、目黒区教育委員会、東京新聞、ポレポレ東中野  
後援:北海道、福島県、福岡県、長崎県/歌志内市、美幌市、三笠市、夕張市、いわき市、嘉麻市、田川市、長崎市/北海道新聞、西日本新聞/文化資源学会、美学校  
助成:芸術文化振興基金、財団法人アサヒビル芸術文化財団、Asahi  
企業メセナ協議会認定 M.  
協賛:朝倉不動産、資生堂、SHI/EIDO  
企画協力:夕張市美術館、夕張市石炭博物館、美幌市教育委員会、三笠市教育委員会(ミカサ・モダンアート・ミュージアム)、いわき市立美術館、嘉麻市教育委員会、田川市石炭・歴史博物館、田川市美術館、田川市立図書館  
協力:NPO法人炭鉱の記憶推進事業団、常盤炭田史研究会、公立大学法人福岡県立大学(世界遺産をめざす田川再生事業事務局、山本作兵衛さんを<読む>会、NPO法人軍艦島を世界遺産にする会)